

第 章 デザイン調整の仕組み

- 1 . デザインの取組み -----29
- 2 . デザイン調整と体制 -----30

まちづくりの目標を達成するためには、デザイン検討や調整の流れがスムーズに行われることが大切です。ここでは、その取組みの仕組みを示します。

デザインの取組み

システムとしての デザイン調整

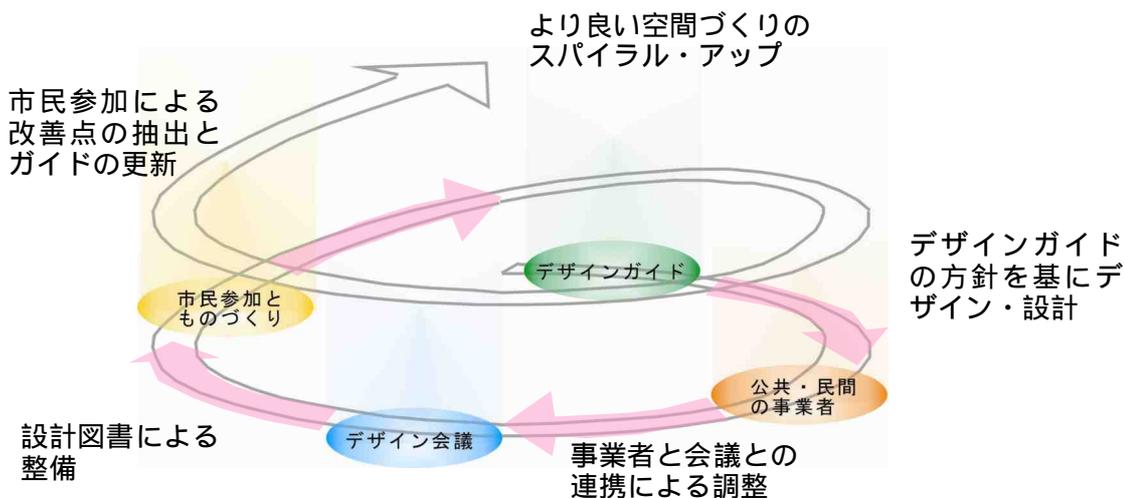
公共空間、民有空間に関わらず、都市空間を構成する関係者が情報を共有し、目指す都市空間にふさわしいデザインを形成するため、検討や調整がスムーズに流れるシステムを構築します。

方針書としての デザインガイド

本ガイドは、基盤整備や建築物のデザイン設計業務、維持管理業務等に際し、それぞれの担当者が「目指す都市空間」を理解したうえで業務に取り組むための方針書および参考資料となることを目指します。

体制としての デザイン会議

熊本駅周辺地域都市空間デザイン会議を要とし、情報の収集発信と共に、都市空間の「デザインの共有、一貫性の保持、デザインの監理・運用」を図ります。



デザイン会議：熊本駅周辺地域都市空間デザイン会議

デザインガイド スパイラルアップの概念図

目指す将来像を実現するためには、様々な開発や事業が競い合っているのではなく、調和の取れたデザインを図ることが大切です。そのためのデザインの調整と体制を示します

1 . デザインの共有

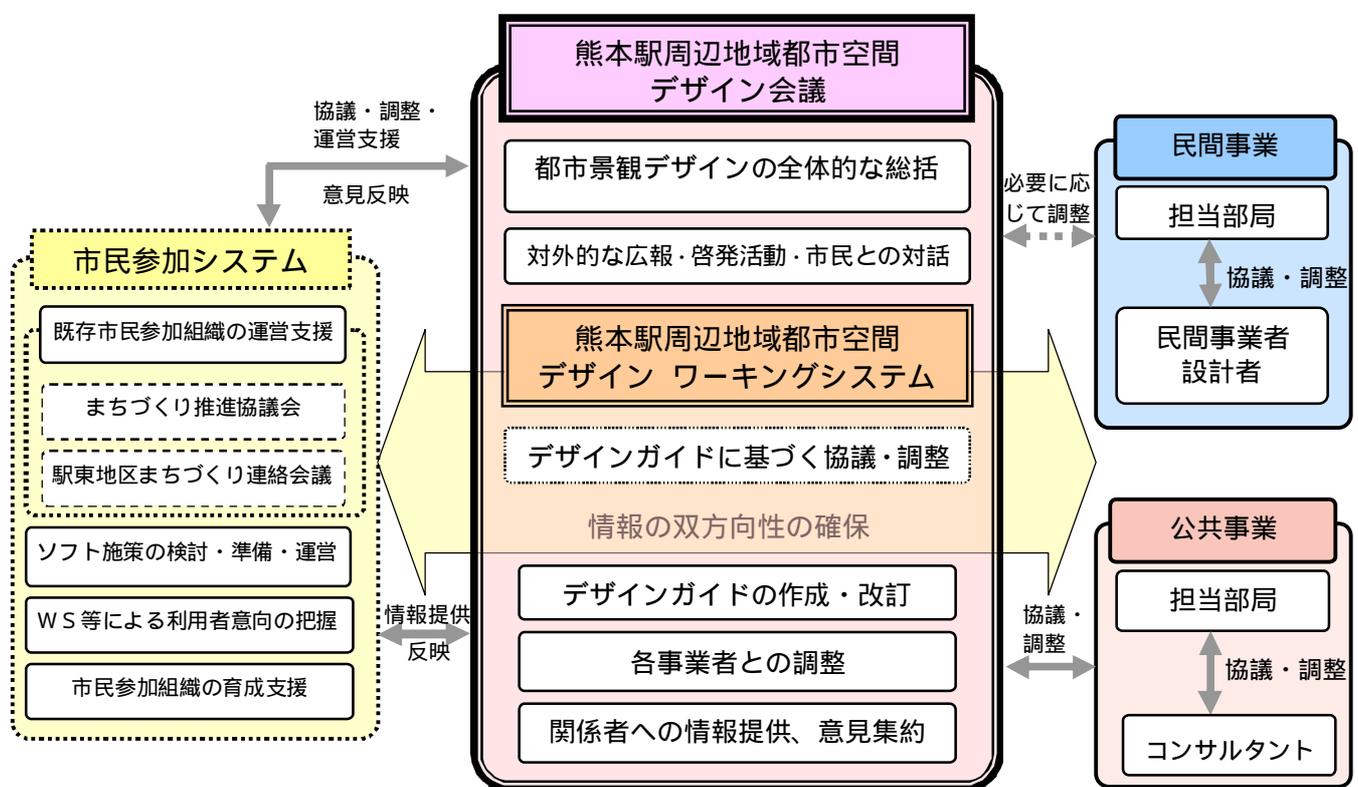
多くの人が行き交い、交流する県都熊本の玄関口として良好な街並みを形成し、また快適な空間を創造するためには、道路・河川・公園といった公共施設と、これらに隣接する建築物が、将来像を理解し、まちづくりに協力していくことが必要です。

2 . デザインの一貫性保持

本地域は事業が長期間におよぶことから、当初設定したまちづくりやデザインの方針について、一貫性を保持していくことが必要です。

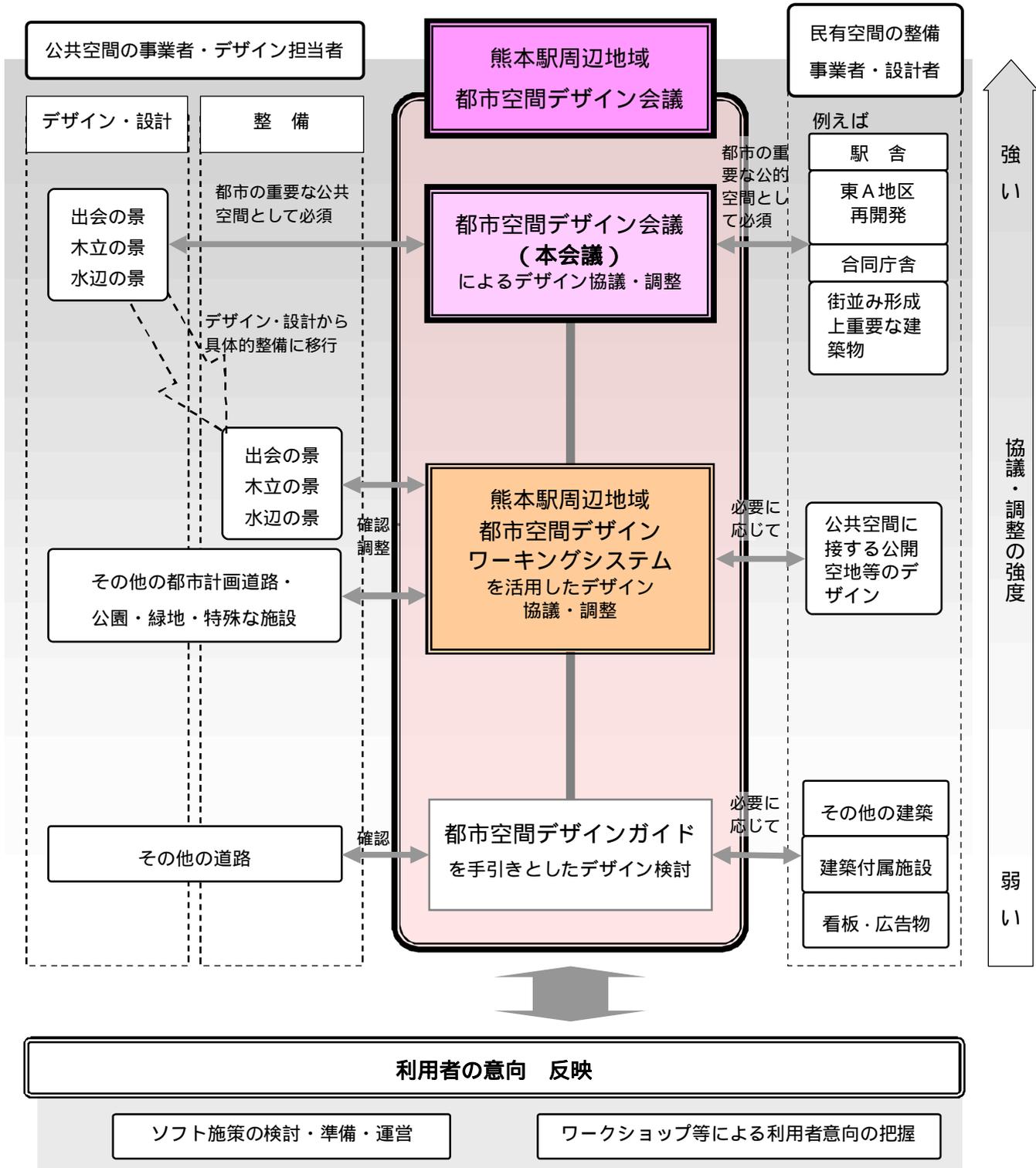
3 . デザイン・設計の監理・運用

個々の事業実施段階において、地域全体としてのデザインのまとめ、一貫性を保持し続けるよう、その時々でのデザイン・設計監理及び管理運用をしっかりと行っていくことが必要です。



デザイン調整の体制と役割 仕組み図

調和のとれたデザイン実現のためには、多様な空間や施設のあり方を協議・調整し進めることが大切です。重要度に応じた空間や施設の協議・調整の関係を示します。



デザイン協議・調整の強度図